

Study on Energy Dynamics for Environmental Sustainability and Social Development

カンチャン クマール セン

<https://hdl.handle.net/2324/7396223>

出版情報 : Kyushu University, 2025, 博士 (工学), 課程博士

バージョン :

権利関係 : Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (3)



氏 名	KANCHAN KUMAR SEN (カンチャン クマール セン)			
論 文 名	Study on Energy Dynamics for Environmental Sustainability and Social Development (環境持続可能性と社会発展のためエネルギーダイナミクスに関する研究)			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	B. B. Saha
	副 査	九州大学	教授	伊藤 衡平
	副 査	九州大学	准教授	濱本 芳徳

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、持続可能なエネルギー技術開発への投資の費用対効果が、環境政策の厳格化によって著しく高められることをデータ解析により示したものである。また、デジタル化とガバナンスの質がエネルギーの不安定性と不平等の軽減に寄与すること、そして女性のエンパワーメント、例えば社会進出と活躍、ならびに金融包摂、例えば容易に経済活動に参画することが持続可能なエネルギー利用を促進する上で重要な要因であることを明らかにしている。このように本研究は、計量経済学と機械学習を統合した分析手法を通じて、エネルギー技術、政策、社会要因の関係性を可視化したものであって、機械工学に学術的および実用的観点から高い意義を有する。よって本論文は博士（工学）の学位論文に値するものと認める。